

かみおしのちいきかんきょうほぜんきょうぎかい
上押野地域環境保全協議会（安曇野市）

・組織の活動面積 A= 59.83 ha	組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 □	向上活動 ■
・組織の構成員数 約 220 人	取組開始年度	平成24年～	—	平成24年～

構成員	農家、非農家、農家組合、水利組合、長寿会、上押野区、松本ハイランド農協等
-----	--------------------------------------

○組織の概要

上押野地域環境保全協議会は安曇野市の北東に位置し、北アルプス・安曇野を一望できる風光明媚な地域です。

組織は農家、非農家を問わず全員参加を合言葉に、各種作業・多種多様な催しに参加、交流を深めております。

ええっこで絆深める上押野 !!

不要樹木の伐採

内川河川壁を崩壊する勢いの柳（直径20～30cm）約100本を伐採。通行の妨げがなくなり住宅側からの視界もよくなりました！



内川河川際の立木伐採作業



農道・水路の整備

毎年、年2回農道及び水路の整備を行っています。特に畑エリアは荒廃農地になりつつあり手入れが少ないため重要な作業の一つです

遊休農地の活用

遊休農地を利用したそば栽培(右)と紫陽花園(左)の造成



安曇野産の新そば味わう



地元産のそば粉を使ったそばを味わう区民ら

安曇野市明科七貴の「めでの催し」に「上押野新そば」の特産PRもしたいと、区民ら約100人が訪れ、打ちたてのそばを味わった。これは「そばを味わう」の催しで、区と協議会は今年、上押野区内の約26町の遊休農地を活用してソ

（斎藤太一）

バの栽培を始めた。祭りでは、そこで収穫されたそば粉を使い、約120人分を打った。区内の子供たちもそば打ち体験に参加し、大人に教えてもらいながらそばを打ったり切ったりしていた。区の役員らがつけそばとかけそば、わたあめなどを振る舞った。そば打ちを体験して、友達とそばを食べていた明南小学校2年生の小島悠月君（7）は「そばを切るのが楽しかった。こしがあつておいしい」と満足そうに話していた。

上押野区長兼協議会代表の大石昭明さん（左）は「遊休農地の景観を良くして、地域の特産のPRもしたい」と考えてソバの栽培を始めた。これからも栽培を続けたい」と話していた。

市民タイムス掲載（2013.11.28）